



にいさとこうじ
在京雫石町友会 会長 **新里孝二**さん

故郷との強い「絆」を願って

昨年8月9日、故郷雫石町がかつて経験したことのない集中豪雨で、甚大な災害を受けたことに対し、衷心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を願っています。

申し遅れましたが、昨年6月22日に開催された在京雫石町友会総会において、会員皆様のご推挙により会長に就任いたしました。微力な私ですが、会員皆様と関係者の方々のご指導とご支援を賜り、その任を誠心誠意努めてまいりたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

本会は、首都圏在住の雫石出身者とゆかりのある方々、故郷雫石との交流を図る目的で発足して、35年経過しました。この間、歴代の会長さん、諸先輩の方々、役員の皆様の献身的なご尽力により、素晴らしい発展を遂げてまいりました。本会のためにお力添えをいただいた皆様、町関係者の方々にご心より感謝を申し上げます。

故郷雫石を想うとき、脳裏に真っ先に浮かんでくるのが、歌人・俵万智さんの歌です。

『寒いね』と話しかければ
『寒いね』と答える人のいる
あたたかさ

この歌は、「雫石のあたたかさ」と「雫石の絆のつよさ」を象徴的に表してくれているように感じられます。

この歌と町が掲げる未来像「みんなが主役

誇らしく 心豊かなまち しずくいし」を胸に秘めて、町との「絆」を深めていきたいと願っています。

そのために、次のようなことに町・関係者との連携を図りながら取り組んでいきたいと考えております。

一つは、首都圏で実施されている物産展等への協力です。特に、農産物やその加工食品等は評判が良く、多くの会員も購入しています。今後も可能な限り「雫石」のPRに協力していきたいと思っております。

二つ目に、町の諸行事への参加、協力についてです。昨年も軽トラ市や総合芸術祭に多くの会員が参加し、町との交流を深めました。今後も積極的に諸行事に参加してまいりたいと思っております。

三つ目は、今まで以上に町の情報提供をお願いしたいと思います。雫石は、豊かな自然、観光、温泉等に恵まれた町です。これらに関する情報を活用して、町のイメージアップにつながるようなことを町友会として取り組んでいきたいと考えております。

「みんなが主役」の「みんな」には、私たち町友会会員も含まれているとの思いで上記の活動を推進し、より一層故郷雫石との『絆』が深化するよう努力してまいりたいと思っております。

今後も、町友会のために町民の皆様と関係者の皆様のご指導とご支援の程よろしくお願い申し上げます。



同級生との「絆」を深めるため「古希を祝う会」に出席（後列中央筆者）



地域の方々との「絆」を深めるため時々、行楽地を散策（左から二人目筆者）

新里孝二さんプロフィール

昭和18年生まれ。さいたま市在住。御明神春木場出身。埼玉県公立学校教諭経験20年。岩槻市教育委員会指導主事、学校教育部長歴任。公立学校校長歴任。現在、人権啓発のため埼玉県内の小・中学校等で講演活動にあたっている。